

1. 件名：北陸電力株式会社の志賀原子力発電所における令和6年能登半島地震の影響に関する面談

2. 日時：令和6年2月21日(水)10時30分～11時05分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門

野田安全管理調査官、海田主任安全審査官、原田安全審査専門職、
大井安全審査専門職、岩崎安全審査官

北陸電力株式会社 土木建築部

藤田執行役員 他13名※

同 原子力部 副部長 他1名※

同 東京支社 1名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・志賀原子力発電所 令和6年能登半島地震の影響について

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	(0:00:00~0:05:26)
0:05:26	音声テストのため、削除。
0:05:26	では定刻になりましたので、志賀原子力発電所令和6年能登半島地震の影響についての面談を行います。
0:05:37	まずは、
0:05:40	資料の説明の方をお願いします。
0:05:45	はい。補機電力の濱田です。
0:05:47	面談集に基づきましてご説明させていただきます。志賀原子力発電所の令和6年能登半島地震の影響についてご説明いたします。
0:05:57	現在、弊社では、令和6年1月1日に発生しました能登半島地震に伴う地震動、津波、地盤の変動による地下原子力発電所の影響について評価を実施しています。
0:06:10	また、これまでの新規制基準適合性審査で説明した各断層の現地の確認も進めています。
0:06:18	これらが完了次第、各項目に整理し報告いたします。
0:06:23	報告の項目について説明いたします。
0:06:26	一つ目は、敷地の地震動、津波、地盤の変動についてです。(1)としまして地震動観測記録の分析を行います。
0:06:36	これは今回の地震のはぎとり版について、耐震バックチェックの基準地震動 S_s-1 から3及び新規性基準申請時の基準地震動 S_s1 から7と比較した結果を報告します。
0:06:51	(2)として、原子炉建屋の耐震健全性評価を行います。
0:06:56	これは今回の地震による原子炉建屋の耐震健全性を確認するために、地震応答解析により求められる耐震駅の最大応答せん断ひずみ、
0:07:07	及び総せん断力と、それらの9区用地と比較した結果を報告いたします。
0:07:13	(3)といたしまして津波高さの分析と評価を行います。
0:07:18	これは今回の地震による発電所施設の耐津波安全性を確認するために、津波の観測値及び波源モデルを用いて解析した水位上昇値及び水位下降値と、
0:07:31	それらの許容値と比較した結果を報告いたします。
0:07:35	(4)として、地盤の変動評価を行います。
0:07:39	これは、今回の地震による発電所敷地の地盤変動を確認するために、敷地内及び前面海域に設定した11ヶ所で測量を行い、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:49	地震前後での変動量等を確認し、ガイドで求める基準値と比較した結果を報告いたします。
0:07:57	次に、敷地内断層等の地震。
0:08:00	英語の状況についてです。
0:08:03	これまでの審査で説明いたしました敷地内断層及び敷地近傍断層の評価について、
0:08:10	地震後における、
0:08:12	各断層の状況について確認した結果を報告いたします。
0:08:17	なおこの確認は敷地内断層に加え、
0:08:20	敷地近傍断層のうち、陸域に分布する福浦断層及び戸川南岸断層を対象とします。
0:08:28	最後に、今後の適合性確認審査の進め方といたしまして、
0:08:33	審査は進行中ですが、各項目によっては今回の地震の知見を反映する必要がございます。
0:08:42	そこで今回の実験を踏まえた今後の審査の進め方について要望させていただきたいと思っております。
0:08:49	資料の説明は以上になります。
0:08:54	ありがとうございました。
0:08:56	他に何か補足説明等がありますか。
0:09:03	アノ事業者の方、北陸電力藤田です。事業者の方から今の方針といたしますか、報告の位置付けについてご説明させていただきましたので、補足はございません。
0:09:14	承知しました。
0:09:16	それでは規制庁の方からコメントありますでしょうか。
0:09:26	きちんとノダですけど、浜田さんご説明ありがとうございました。本日は御社の方から、能登半島地震の影響についてということで、
0:09:36	こういった、
0:09:39	項目ですかね。
0:09:41	説明方を除くと4、6項目ですかね計6項目を網羅的に整理していただいて、今日ご説明いただいたんですけど、
0:09:50	まずですね、
0:09:53	この6項目のうち、地震津波審査部門として、聞く範囲としては、新規制基準適合審査に関係する、1ポツの(3)と(4)、
0:10:08	あとは、2ポツの(1)(2)、この4項目について、うちのこの地震津波審査部門で、今後も、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:18	基本的には主体我々が主体となって、確認していこうと思っている一方で、一つの、(1)と(2)、ここは新規制基準の適合性審査とは直接II
0:10:31	関係をしないうちでありますので、おそらくここは、規制庁内の実用炉監視部門の方で確認していくことになると思っております。
0:10:44	従って、今日、今日はこういった形で網羅的にご説明いただいたんですけど、1ポツの(1)と(2)これについては、
0:10:54	もうすでに実用炉監視部門には情報共有してあるんですけど、おそらく今後はそちらの方で聞くことになっていくことになると思っておりますので、まずちょっと、
0:11:05	今日ご説明いただいた項目のうち、我々事情し、地震津波審査部門で聞くべきところを、の明確化ということでお伝えをします。
0:11:17	その上で、ですね。
0:11:21	この紙の中でちょっと2点お伝えしたいことがあります。記載について、1点目は、この報告の内容の
0:11:31	の中で、目的ですね、広告の目的というところが少し抜けてるのかなと思っておりますので、そういったところは記載がつい、記載の追加が必要かなと考えております。
0:11:44	具体的には、例えば、我々、地震津波審査部門に関連するところと言えば、大きく二つ。一つは、これまで新規制基準適合性審査で我々が確認をし、
0:11:58	概ね審査済みとなっている項目と、あとは、
0:12:04	まだ審査を審議中であつたりこれから審議するものであつたり、おそらくその実、
0:12:11	二つですね、大きく二つに分かれるのかと思っておりますので、ちょっとそういった状況ですね審査、適合性審査の状況も踏まえて、少しこの報告の目的というところを記載していただければと思います。
0:12:26	これが1点目です。あと2点目は、1ポツの(4)の地盤の変動の評価のところ、今は11ヶ所で測量してそこから、
0:12:39	地震前後での変動量を確認して、ガイドで定める基準値との比較ということをお知らせすると記載されておるんですけど、
0:12:48	御社からは、敷地内で、変状ですね傾きであつたり、段差であつたり、沈下であつたり、そういったことも確認されてますし、当方でも報告を受けて、
0:13:05	おります。従って、これは、
0:13:09	一応基準の中でも地盤の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:12	基礎地盤の変形ですね、変形の部分に当たる可能性がありますので、少し、そういったところは、敷地内断層との関係も含めて、
0:13:23	ここに1ポツの(4)に、
0:13:27	中でご説明いただく、ご報告いただく必要があるかと考えておりますので、お伝えしておきます。
0:13:35	とりあえず冒頭私の方から、3点ですね、まず、地震津波審査部門で聞く別、聞くべき範疇。あとはその中で、少し説明の目的であったり、あとは地盤の変動の評価のところでは、
0:13:49	そういった敷地内で発生した変状との関係で、少し報告の内容が必要だと考えております。とりあえず、私から3点以上です。
0:14:04	北陸電力藤田です。野田さんコメントありがとうございます。
0:14:09	1点目の、
0:14:11	報告。
0:14:13	呉の。
0:14:14	内容ですね、地震津波、関係についてだけまず先行してご報告した上で、1ポツの(1)(2)につきましては、これだけなのか、それ以外のいろんな設備の検討結果も、
0:14:29	必要なのかというところ、ここはまた、
0:14:32	ロジ的に報告の方法を相談させていただければと思います。
0:14:38	1ポツの(3)以降ですね、
0:14:41	ご報告させていただくということで、承知いたしました。
0:14:46	それから目的ですね、敷地内断層、
0:14:50	或いは近傍断層については、審査の中で概ね、審査、
0:14:58	検討がなされているという、一緒に検討がされているという結果をいただいていますのでそれについて、我々今回ノジリ踏まえて、その評価が影響あるかないかということで、
0:15:09	確認しておりますのでそういった目的ですね、しっかり記載しますがこれは正式な報告する段階でそういった目的を記載したような資料にして、
0:15:19	ご説明するという趣旨で理解しましたので、よろしく願いいたします。
0:15:26	あと地盤の変動に関係しまして、野田さんの方から一部、すでに報告があったっていうのは例えば、物揚場の沈下の話ですとか、傍聴席の方の
0:15:38	地盤の方で沈下があったっていうところも報告あってそういったものが金今回も報告の中に含めて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:47	いくべきではないかというそういうコメントだと思いますのでそれにつきましても含めまして報告するようにしていきたいと思います。
0:15:55	私の方は以上です。
0:16:01	規制庁の野田ですけど、藤田さんありがとうございます。はい。基本的には今、ご回答いただいたことで、3点確認できましたので、とりあえず私からは、はい。以上です。あともしCグループから何か確認等あればお願いします。
0:16:19	はい。
0:16:21	海田です私からもちょっと確認で、
0:16:26	今、12が3以降ということで、カガワ1の下(3)以降ということで今
0:16:34	そういう話になって、お願いしたいと思うんですけどこの(3)なんですけど、(2)は耐震安全性で(3)は、
0:16:45	津波の高さ的などころもあれば耐津波安全性とか津波の設計とかの話も、これも
0:16:55	入ってくるということなんですかね。ちょっとそこの(3)の内容、
0:17:00	ちょっと教えていただけますでしょうか。
0:17:05	はい。北陸電力の浜田です。(3)の内容につきましては津波の高さが、それぞれ敷地前面或いは取水ピットの中で、
0:17:16	どれぐらいの高さだったかという報告になりますので、そういう意味で構造物に対して津波の力がどのようにかかったかとかそういうところについての報告は今予定はしておりません。以上です。
0:17:30	海田ですわかりましたじゃちょっと2と3の(2)と(3)は結構書きぶりが似てて、また1、新安全性と、
0:17:41	耐津波の安全性ということでほぼ同じようなことかなと思ったらちょっと違うということ。
0:17:49	であるということで確認できました。
0:17:52	その上で(3)なんですけど、波源モデルを用いて解析するっていうことなんですけど、
0:18:02	これは何のモデルなのか今の時点で何かもろみあるんでしょうかっていうのは今まで使ってるやつなのか、今回の地震。
0:18:13	であれば、ちょっとまだ知見とかも、
0:18:17	確定してるわけでもないかもしれないんですけど、この辺はモデルっていうのはどういうモデルなんですかね。
0:18:27	はい。北陸電力の濱田です。今検討を考えている波源モデルというのは、地震後に、各研究機関が示しているモデルを想定しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:38	岡田さんおっしゃられるように今まだ当時途上ですので、報告段階でえられている中から、
0:18:47	選定したものという形で報告する予定にしております。以上です。
0:18:54	はい海田です。わかりました今の点確認できました。
0:18:59	それとあと今度は(4)なんですけれども、これは
0:19:05	まず 11ヶ所で測量を行って変動量を確認するってことで
0:19:11	この 11ヶ所は、地震前のデータもあるから比較できるということで、何か常時、
0:19:19	測量しているような場所が、
0:19:21	11ヶ所あったということで、その 11ヶ所で全部ということなんでしょうか。
0:19:28	はい。堀電力の濱田です。おっしゃられる通り、この 11ヶ所はすべて定期的に測量している箇所にございまして、地震前のデータもありましたので、それと今回地震後に、同じ場所を測定して比較することになります。以上です。
0:19:47	はい。海田です。わかりましたそういう状況であるという点は確認できました。
0:19:53	あとガイドで定める基準値と比較した結果の報告ということで、
0:20:03	今回の
0:20:05	阿蘇アノアノあたりの地震、波源震源とする地震っていうのは、
0:20:11	申請上はSsに入っていないから、
0:20:17	特にその、なんていうか傾斜の話とかっていうのは入ってなかったかなと思ってんですけど、今回、これ何かSsに入るかもしれないとかってそういうことでコウし、何かガイドとかっていう話が出てきてるんでしょうか
0:20:35	ここら辺ちょっとすみません
0:20:38	教えていただけますでしょうか。
0:20:42	はい。北陸電力の濱田です。まず、ガイドといいますのは傾斜のことでございまして、これにつきましては津波波源、
0:20:52	の設定した時に地盤変動として
0:20:56	津波が起きたときに、すいません津波が発生する地震が起きたときに、志賀サイト周辺でどのような傾斜になるかというのは調べアノやシライ、事前に、
0:21:08	す。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:10	調べておりました。今回の地震とほぼ同等の波源でありますノダんと北岸につきましても、申請時からそのような形で津波の
0:21:20	波源としては選定しておりましたので、それに関する傾斜というのは、別途検討しておりましたけども、今回ここで示そうと思っておりますのは、他、単純に今回の 11ヶ所、
0:21:33	のデータを用いて、傾斜の傾きの基準値とチェックすると、いうことをやろうと思ってる。
0:21:42	ところでございます。
0:21:45	以上です。
0:21:47	はい。海田ですわかりました
0:21:50	おっしゃるように津波の方は石川県モデルでしたっけ
0:21:56	能登半島の北岸の断層を用いて、変動コンター図が確かあの申請書にも載せられていて、そういったのは目にしまして、
0:22:09	それは把握してますんで
0:22:14	タダノフナノ断層っていうのは、Ssにも入ってなかったんで傾斜地盤の傾斜っていうところでは、特にそこらあたりが出てなかったんで、
0:22:26	確か出てたのは、笹波沖と、福浦だったと思います。今回、
0:22:33	の丹と朴アノ自身も、
0:22:36	まずはちょっと傾斜がどうだったかっていうの、基準値に沿ってるかどうかという、単純にそれを比較してみようというそういうことで、現時点ではそういうことっていうことでよろしいですか。
0:22:51	北陸電力濱田です。まず、ここで今示した、
0:22:55	ものは、先ほど言いましたように、サイトの 11ヶ所の基準、す。
0:23:04	基準点での地震前後の変化から、その範囲での傾斜を、
0:23:10	求めるというのが、ここに記載していた基準値との比較ということになります。ただ海田さん今おっしゃられたように、津波の検討の中で、
0:23:22	例えば今回の地震へのモデルによってサイトがどれぐらいの傾斜になったのかというのは、計算すること、当然できますので、そのコメントを踏まえましてそれについても追加して、示したいと思います。
0:23:38	以上です。
0:23:41	海田ですがわかりました。まず 11ヶ所の比較であと、その他の検討があるかもしれないということで、
0:23:48	承知しました。はい。
0:23:52	あと、すいません。
0:23:54	何かありますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:56	北陸電力藤田ですけど、海田さんがコメントされた趣旨というのは、単純にその 2000 分の 1 を超えた超えないかを、
0:24:08	今回の測量結果で、
0:24:10	他に確認したということ報告し、
0:24:13	したいんですねという確認の意味。
0:24:15	だったのかなっていう私は聞こえてまして今濱田が言ったように、能登北岸の断層で、どのぐらいの傾斜になるかってのは計算上できますけどそれ、それもあわせて報告。
0:24:27	してという趣旨ではなかったように聞こえたんですけど、そちらどちらなのかなというのをちょっと教えていただけますか。
0:24:33	海田です私もですねちょっと書いてある内容が、2000 分の 1 を確認したいのかなっていうふうに思ってそれを確認しただけです。ただ、
0:24:44	そうしたときに、申請上は、この断層っていうのは、Ssに入っていないので、傾斜のケアの検討っていうのはされてなかったと思うんですね。
0:24:58	今回、検討するっていうことは、その関係で、どういう趣旨で検討がするのかってガイドっていうのは、どのガイドのことなのかっていうところを確認したかったということで、
0:25:11	うん。すそそういった時間関係を確認しただけで検討をさらにしてくださいっていう意味ではないです。
0:25:20	北陸電力藤田です。趣旨確認できましたので、
0:25:26	ありがとうございました。
0:25:31	はい、海田です確認したっていうのは、位置付けを確認したということだけですのではいしません。
0:25:40	すいません 2 ポツなんですけどこれなお書きの方なんですけど、
0:25:46	クーラと研ぎ側をまず対象としますよっていうことなんですけど
0:25:51	近いからっていうこともあるんでしょうけど、これが二つ出てきてる。
0:25:57	他にもいっぱいあると思うんですけどこの二つが対象になってるっていうのは、何か、
0:26:04	根拠というか、理由とか背景はあるのかっていうのを教えてください。
0:26:11	はい。北陸電力の野原です。
0:26:14	敷地近傍断層幾つか断層がございますが、そのうち、まず後期更新世以降の活動性を評価しているもの。
0:26:21	うん。
0:26:23	なお対象としたい、対象としております。その中で、現在その露頭が確認できるというものが、陸域の断層に限られますので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:32	そういった観点から、このフタダ断層と藤尾永見断層を二つを対象としております。
0:26:38	以上です。
0:26:41	はい。
0:26:42	海田です。わかりました将来活動性があるということと、
0:26:49	今、陸域で確認できるものというこ等ですね、
0:26:55	この陸域であればまだ説明は聞いてないんですけど
0:27:00	他にも、
0:27:02	いっぱいあったと思うんですけどそこはまずは、今後ということですかね。
0:27:09	北陸電力の野原です。今、兼田さん言われた趣旨は、5キロ以遠の陸域の断層のことでしょうか。
0:27:21	はい。海田です。はいそうそうです。
0:27:24	なので近傍ではないから入ってないってということかなと思い、思っで一応確認しさせていただいてます。
0:27:33	はい。北陸電力の野原です。審査済みということでこちらには近傍という、近傍の中では福浦と常盤長尾というのを挙げさせていただきましたが、
0:27:43	今後周りの断層につきましても、今回の地震による変状ですとか、そういったものがないかという観点で、継続的に調査は行っていきたいと思えます。
0:27:55	それらにつきましては、今後のこういった形を出していくというのはちょっと検討中ではありますが、5キロへの審査の中で、そういった状況も併せて報告。
0:28:06	していきたいなというふうに考えております。
0:28:09	以上です。
0:28:12	はい。海田です。わかりましたそういったお考えであるというところを確認できました。はい。私から以上です。
0:28:22	規制庁の。
0:28:23	原田です。私からは1点、津波高の分析と評価について、津波の観測値を示していただくということで、す。地震のあった後に速報値として
0:28:38	津波の観測値を報告していただいたんですが、それを見ると、ものすごく細かい普通の通常の波浪の
0:28:48	短周期の細かい波が入っていて、津波自体のその初動とかが、とか、全体的な形とかがあまりちょっとわかりにくい感じになってたんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:00	もちろんその津波の生は家は、ちゃんと示していただきつつ、フィルターをかけるなりして、その細かい波浪の報酬費はの波をちょっと取っていただいたような、
0:29:13	津波は形を示していただくということは可能でしょうか。
0:29:18	検討していただけるでしょうか。
0:29:22	はい。堀電力の濱田です。はい。
0:29:25	今おっしゃられた通り、ローパスフィルターを処理したのも併せて示したいと思っております。以上です。
0:29:35	規制庁原田です。承知しました。よろしく申し上げます。
0:29:40	あ、規制庁から。
0:29:42	米と、
0:29:48	規制庁のノダですけど、さっきのごめんなさい順番が入れ子になっちゃって、藤海田さん。
0:29:54	からも、敷地近傍断層のところでお書きのところで、
0:30:01	少し、野原さんとのやりとりがあったんですけど、ここは少しこの2断層を抽出した案の理由みたいのを書いていただければいいのかなと思っていますし、あと、
0:30:15	多分大共通認識できてると思うんですけど、おそらく敷地近傍の断層で、もうすでに概ね、
0:30:27	審査済みになって審査済みってか、
0:30:32	ある程度審査が進んでいるものと、あとは、5キロ以遠で今後審査するところ、その場合分けをすればいいのかなと思っています、
0:30:42	5キロ以遠のところは、野原さんが言われた通り、まだこれから審査するところありますので、もし必要に応じて、現場とかで、今後確認されて、
0:30:55	何か新たな情報があれば、それは今後の審査資料に反映していただければいいのかなと思っていますし、他方で、例えば福浦とか野木側については、
0:31:09	今のところそういった予定はありませんので、
0:31:13	この今回のこの枠組みの中です、現場の確認状況、つまり、これまで御説明評価、
0:31:23	したものから、
0:31:25	何か追加変更があるのかどうかというところをご報告いただければと思います。
0:31:31	以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:34	はい。北陸電力の野原です。今ほどのご指摘理解しました、2 断層、
0:31:39	この福村と常盤長尾中地下に書きたいと思いますし、
0:31:44	近傍と 5 キロ以遠のしっかり場合分けして、今回はその近傍整理審査 といますかある程度漁場替えられているものについて、
0:31:53	これまでの評価と、
0:31:56	変更があるのかないのか、そういった観点で、今回の資料はまとめてい きたいと思います。
0:32:02	以上です。
0:32:10	規制庁から国と、
0:32:12	言いますか。
0:32:14	それでは
0:32:19	きちっと大井ですすみません、ちょっとこの資料自体一般に公開される ということも間紙に関してちょっと要望としてちょっと、
0:32:29	私自身もわかんないんですけど
0:32:31	(3)の津波の(2)までもありますけどその 9 用地って言って、おっしゃ ってるのはこれって
0:32:38	何を指してるんでしたっけ、ちょっと教えていただけますか。
0:32:42	許容値ですかね。
0:32:46	はい、榎電力ハマダです。まず(3)の方の許容値につきましては、敷地 前面ですと、地盤高さ、
0:32:57	加古川ですと、
0:33:00	ポンプの取水可能水位を許容値として考えております。
0:33:08	承知しました。
0:33:12	ありがとうございます。
0:33:16	北陸電力の徳田といいます。1 ポツの(2)、原子炉建屋の耐震健全性 評価のところでお示してございます許容値とおっしゃいますのはこれ 報告、
0:33:29	この用紙にも記載させていただきますけども、今回の確認項目は最大応 答せん断ひずみと宗千田層せん断力の 2 項目というふうにお考えでご ざいますので、
0:33:41	最大応答変位、せん断ひずみに対する許容値としましては、壁のせん 断ひび割れが発生するせん断ひずみの目安値を考えてございますし、
0:33:52	総せん断力に対する許容値としましては、京王線段へ、
0:33:57	鉄筋のみで負担できる許容せん断力っていうものを考えてございます。 以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:03	ご回答ありがとうございます。これ、
0:34:06	一般向けに公開される資料として
0:34:10	そういう、
0:34:11	誰もがわかることじゃないと思う、思いましたのでちょっと確認させていただきました。
0:34:15	ヨシカワ以上です。
0:34:22	規制庁の野田ですけど、
0:34:26	ご説明ありがとうございました。
0:34:29	徳田さんと浜さん、それで、
0:34:32	加古さんの津波の方の許容値は、
0:34:38	今花田さんからご説明あった通り、普通は上昇側、敷地の地盤高ですし、あと、加古川ポンプの呑み口のところで、
0:34:50	だと思っていますし、その二つであればもうここは例えば許容値っていう書き方ではなくて、具体的にそれぞれ地盤高であったり、ポンプの取水、
0:35:01	高と比較した結果とか、
0:35:04	書きちゃった方が、今、おい、おいさんからも、一般の人に、がわかるようになっていう話の中で、
0:35:12	わかりやすくなるんじゃないかと思うんで、ちょっとここは記載の
0:35:18	修正等、ご検討いただければと思います。以上です。
0:35:24	はい。北陸電力濱田です。主、主支障シマアノ、理解しましたので修文としたいと思います。以上です。
0:35:37	規制庁から何かコメントありますか。
0:35:42	なければ、追加の説明。
0:35:47	等はありませんか。
0:35:52	北陸電力藤田です。当社の方からは特にございません。
0:35:56	ありがとうございました。
0:35:58	規制庁原田です。ありがとうございます。それでは、はい。
0:36:05	土谷さんありがとうございますで、多分記載内容の確認の方はもうこれ以上ないと思いますんで、あと、今後の進め方ですけど、冒頭にもお伝えしました通り、今後、
0:36:19	少なくとも、地震津波審査部門としては、1ポツの(3)以降のところを、引き続き確認を、
0:36:28	ヒアリングで確認した上で、審査会合で審議できればと考えておって、
0:36:36	おりますので、ちょっと今後のスケジュール感を確認させていただければと思うんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:41	例えばこの1ポツの(3)以降の審査資料っていうところは、いつごろの提出を目指されているかを確認させていただければと思いますけど、いかがでしょうか。
0:36:56	北陸電力藤田です。私ども鋭意評価を進めておりまして、これらについては、概ねデータの方はそろってきております。一部
0:37:07	最終確認しなきゃいけない部分ありますけども、これ2月末ぐらいまでには当社としての整理が終わるのかなと思いますので、
0:37:16	野田さんおっしゃったように審査会合でっていうことになりますと、事前にヒアリング等でその資料のご確認、事実確認をいただきたいと思いますので、
0:37:25	2月の終わりから3月頭ぐらいです。ねヒアリング等の日程調整いただければ、
0:37:33	その時点での資料で確認をいただければと思います。
0:37:42	市長の野田です。藤田さんご説明ありがとうございました。わかりました。そうしましたら、今後、御社の審査資料の作成状況も踏まえながら、
0:37:54	2月の下旬から3月の上旬で、少なくともアノ坊、1回目のヒアリングを設定させていただいて、その結果も踏まえて、審査会合の日時を調整させていただければと思います。よろしくお願ひします。
0:38:12	北陸電力藤尾で承知いたしました。
0:38:25	規制庁から何かありますか。
0:38:28	では、
0:38:31	以上で、志賀原子力発電所令和6年の半島地震の影響についての面談を終わります。ありがとうございました。
0:38:41	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。